

日本福音ルーテル名古屋めぐみ教会 主日礼拝式文(短縮版)

聖霊降臨後 第 16 主日礼拝(緑)

2021/9/12

(鐘の音)

1. 初めの歌 『讃美歌 21』 472 番 (1,2節)

2. み名による祝福

司) 父と、子と、聖霊のみ名によって 会) アーメン

3. 罪の告白の勧め

4. 罪の告白

司) 父なる全能の神よ。

会) 私たちは生まれながら罪深く、けがれに満ち、思いと、ことばと行ないによって多くの罪を犯しました。私たちはみ前に罪をざんげし、父なる神の限りない憐れみにより頼みます。

5. 赦しの祈願祝福

会) アーメン

6. キリエ

司) 主よ、憐れんでください

会) 主よ、憐れんでください

司) キリストよ、憐れんでください

会) キリストよ、憐れんでください

司) 主よ、憐れんでください

会) 主よ、憐れんでください

7. グロリア (言葉に意識を向けて、語るように言葉を唱えましょう)

司) 天には栄光、神に

会) 地には平和、み心にかなう人に

斉唱) 主をあがめ 主を仰ぎ、主を拝み 主をたたえます。

主なる神 天の王 全能の父よ、主の大いなる栄光に感謝します。

主イエス・キリスト、神のひとり子、

父のみ子、神の小羊、世の罪を取り除く主よ。

私たちが憐れんでください。私たちの祈りを聞いてください。

父の右におられる主よ、私たちが憐れんでください。

聖にしてただひとりの主、いと高きキリスト。

主は聖霊と共に、父なる神の栄光のうちに。アーメン

8. 特別の祈り

主なる神様。あなたは御子が受けられた苦しみと拒絶によって救いをもたらし、

十字架の栄光で私たちが造り変えてくださいます。福音のため悪の誘いから離

れ、十字架を負って御子に従うことができますように。救い主、主イエス・キリス

トによって祈ります。アーメン

9. ハレルヤ唱

10. 福音書朗読

マルコによる福音書 8 : 27 - 38 (p.77/89)

11. 説教

12. 感謝の歌 『讃美歌 21』 472 番 (3,4節)

13. 信仰の告白(使徒信条)

全) 天地の造り主、全能の父である神を私は信じます。

そのひとり子、私たちの主イエス・キリストを、私は信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちから復活し、天に上られました。そして全能の父である神の右に座し、そこから来て、生きている人と死んだ人とをさばかれます。

聖霊を私は信じます。また聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

14. 奉獻・奉獻の祈り (聖餐式がある時は、別紙の「聖餐式」の式文へ)

15. 教会の祈り 会) アーメン

16. 主の祈り

全) 天の父よ。

み名があがめられますように。

み国が来ますように。

み心が天で行なわれるように、地上でも行なわれますように。

私たちに今日もこの日の糧をお与えください。

私たちに罪を犯した者を赦しましたから、

私たちの犯した罪をお赦してください。

私たちが誘惑から導き出して、悪からお救いください。

み国も力も栄光も とこしえにあなたのものだからです。アーメン

17. 祝福

司) 主をたたえよう

会) 神に感謝します

司) (祝福)

会) アーメン

18. 派遣の歌 『讃美歌 21』 458 番 (1,4節)

聖書日課

第一の朗読	イザヤ	50 : 4 — 9a	(p.1145/1325)
賛美唱	詩編	116 : 1 — 9	(p.956/1104)
第二の朗読	ヤコブ	3 : 1 — 12	(p.424/490)

福音書朗読 マルコによる福音書 8 : 27 - 38 (p.77/89)

イエスは、弟子たちとフィリポ・カイサリア地方の方々の村にお出かけになった。その途中、弟子たちに、「人々は、わたしのことを何者だと言っているか」と言われた。弟子たちは言った。「『洗礼者ヨハネだ』と言っています。ほかに、『エリヤだ』と言う人も、『預言者の一人だ』と言う人もいます。」そこでイエスがお尋ねになった。「それでは、あなたがたはわたしを何者だと言うのか。」ペトロが答えた。「あなたは、メシアです。」するとイエスは、御自分のことをだれにも話さないようにと弟子たちを戒められた。

それからイエスは、人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日の後に復活することになっている、と弟子たちに教え始められた。しかも、そのことをはっきりとお話しになった。すると、ペトロはイエスをわきへお連れして、いさめ始めた。イエスは振り返って、弟子たちを見ながら、ペトロを叱って言われた。「サタン、引き下がれ。あなたは神のことを思わず、人間のことを思っている。」それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。「わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。人は、たとえ全世界を手に入れても、自分の命を失ったら、何の得があろうか。自分の命を買い戻すのに、どんな代価を支払えようか。神に背いたこの罪深い時代に、わたしとわたしの言葉を恥じる者は、人の子もまた、父の栄光に輝いて聖なる天使たちと共に来るときに、その者を恥じる。」

礼拝でのお願い

- 感染症の拡大予防のため、短縮版の式文で行います。
- 礼拝中は、着席とマスク着用をお願いします。
(マスクをお持ちでない方は、役員までお申し出ください)
- 賛美歌やグロリアは、語るように言葉を唱えてください。
心の中で唱えても構いません。
大声では歌わないように、ご配慮をお願いします。